
第1章 レセプトとは

診療報酬明細書(以下 レセプト)には患者に対してどのような診断(傷病)、検査がなされ、治療が行われ、薬剤がどのくらい処方されたかが記載されています。(株)日本医療データセンター(以下 JMDC)は、これらのレセプト上から読み取れる様々な情報をデータベース化し提供しています。ここでは、JMDC のデータ基であるレセプトについて説明します。

1-1 レセプトの流れ

- ・ 保険者のしくみ
- ・ データが出来るまでの期間
- ・ データ取得のタイミングによる数値の違い

1-2 主なレセプトの種類

1-3 レセプトの発行単位

1-4 レセプトから読み取れるデータ項目

医科レセプト

- ・ 疑い病名 / 診療開始日 / 診療実日数
- ・ 投与量 / 投与日数・処方回数 / 診療区分

調剤レセプト

- ・ 医師名・医師番号
- ・ 投与量 / 投与日数・処方回数

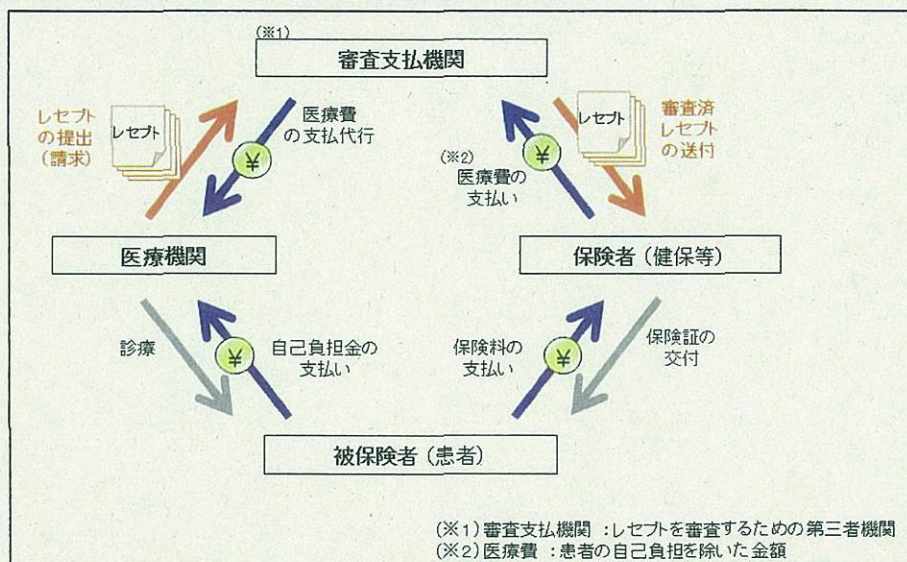
1-1 レセプトの流れ

◇◇◇ レセプトとは ◇◇◇

『医療機関』が『保険者』に対して医療費を請求するために発行する請求明細書を示します。

レセプトの流れ

患者 → 医療機関 → 審査支払機関 → 保険者



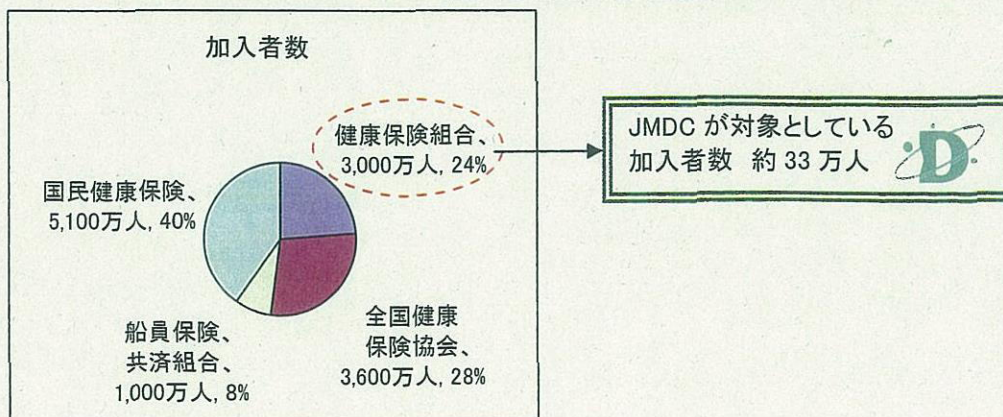
JMDC は契約している保険者 (健康保険組合) よりレセプトを取得しています。

●1-1-1 保険者のしくみ

日本の医療保険制度は就労形態の違いによって、被用者保険と国民健康保険に大別されており、加入者が負担する保険料で保険者が運営しています。

さらに被用者保険は、健康保険組合と全国健康保険協会、共済組合などに分かれています。

JMDC では、契約健康保険組合に加入する約 33 万人よりレセプトを取得しています。



●1-1-2 データが出来るまでの期間

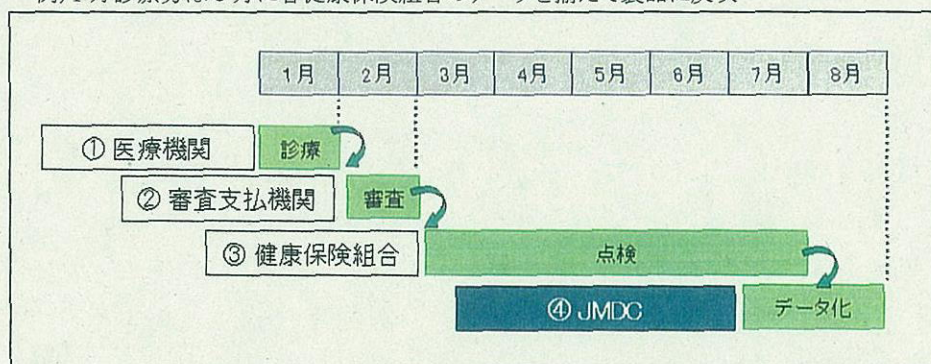
①医療機関 ⇒ ②審査支払機関 ⇒ ③健康保険組合 ⇒ ④JMDC

①医療機関は、診療分のレセプト(請求明細書)を毎月末締めし、翌月初めに審査支払機関へ送付しています。 例)1月診療分は2月初めに審査支払機関へ送付

②審査支払機関では、記入漏れや傷病、診療内容、不要な検査、投薬内容などの点検を行い、月末に健康保険組合へ送付しています。 例)1月診療分は2月末に健康保険組合へ送付

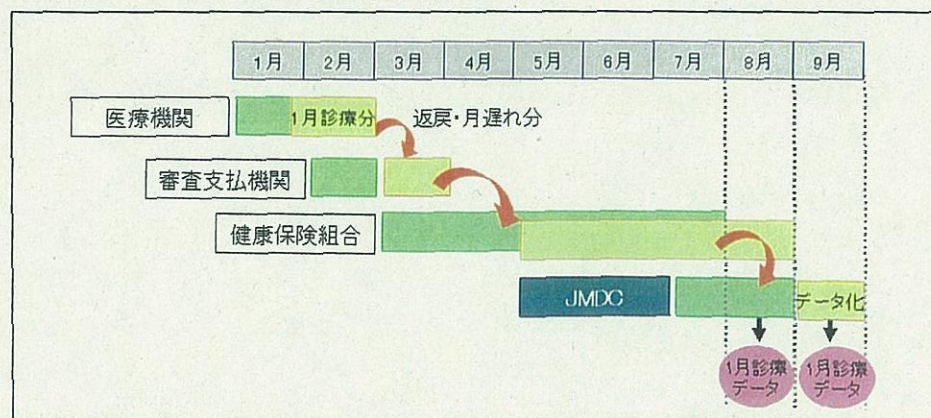
③健康保険組合でも、同様に点検作業を行います。点検作業のほか、給付やデータ化等の処理があり、組合によりその処理期間は異なります。 例)1月診療分は6月にJMDCへ送付

④JMDCでは、点検が終了した健康保険組合から順にレセプトを預かりデータ化しています。(現在は診療した月から製品に反映するまで7ヶ月間かかっています) 例)1月診療分は8月に各健康保険組合のデータを揃えて製品に反映



●1-1-3 データ取得のタイミングによる数値の違い

返戻や月遅れ請求のレセプト分もデータに反映させています。そのため同じ診療年月でも、データを取るタイミングで数値が異なる場合があります。

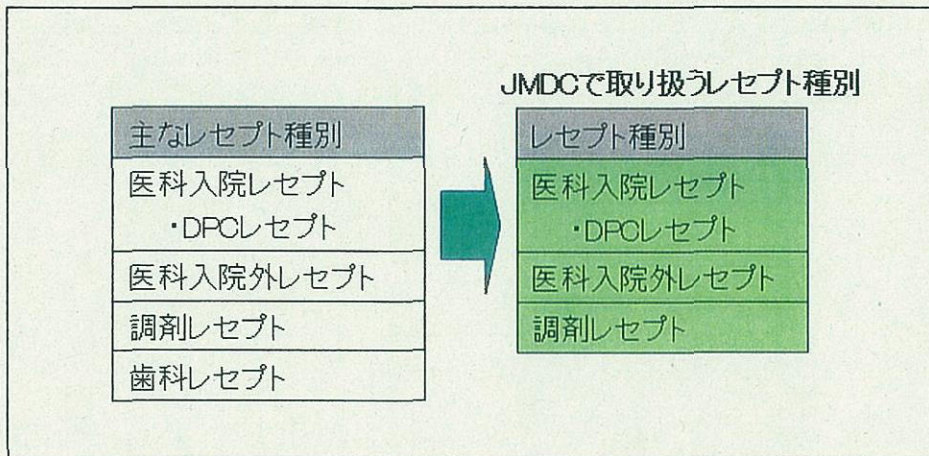


例)8月に1月に診療した糖尿病実患者数をデータ取得した場合 7,049人
 9月に1月に診療した糖尿病実患者数をデータ取得した場合 7,054人

1-2 主なレセプトの種類

主なレセプトの種類には、医療機関から発行される内科入院レセプトおよび内科入院外レセプトと、調剤薬局から発行される調剤レセプト、歯科から発行される歯科レセプト、急性期病院で用いるDPC (Diagnosis Procedure Combination)レセプトなどがあります。

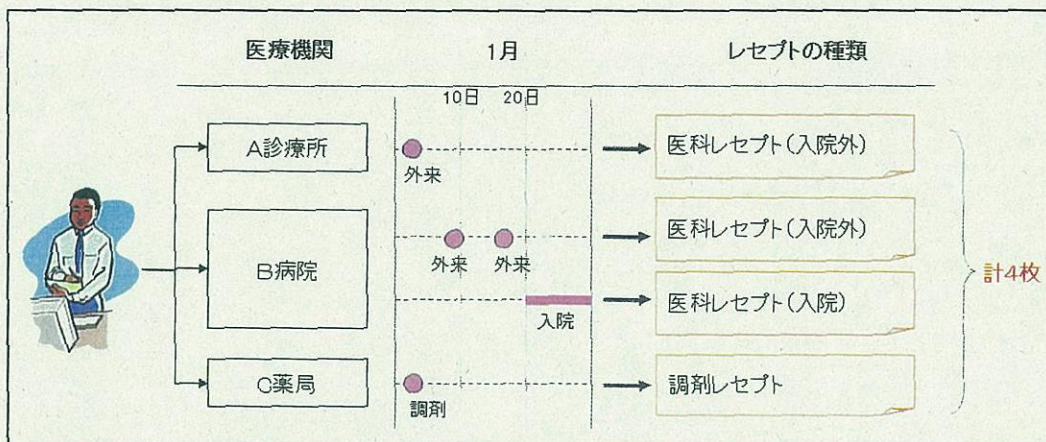
JMDC ではそのうち内科入院レセプト、内科入院外レセプト、調剤レセプト、DPC レセプトをデータ化しています。



1-3 レセプトの発行単位

レセプトは一人一人の患者ごと、受診する医療機関ごと、請求単位の1ヶ月ごと、レセプトの種類ごとに発行されます。
 そのため一人の患者に対し1枚とは限らず、複数発行されている場合があります。

例) 1ヶ月間の JMDC 太郎さんのレセプト枚数



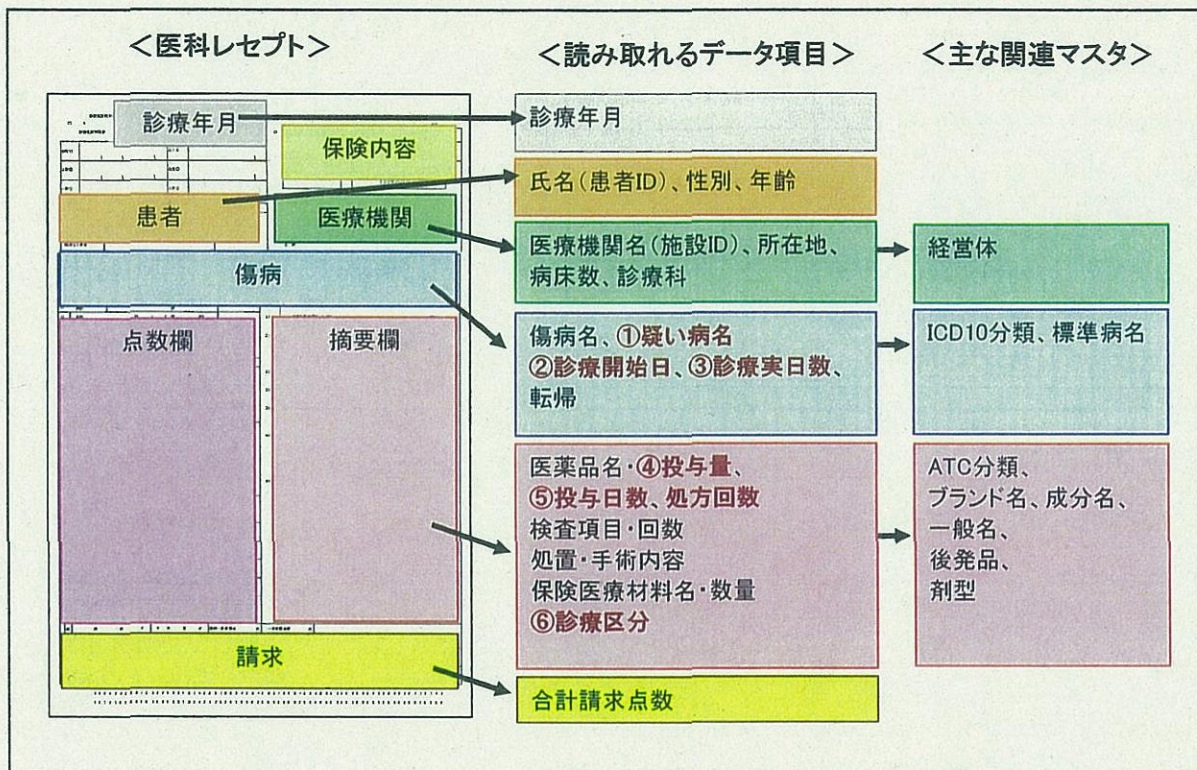
- ① JMDC 太郎さんは、A 診療所に1月に外来を受診しています。
→ A 診療所から『医科入院外レセプト』が発行されます。
- ② A 診療所を受診した際に、C 薬局で薬を調剤してもらっています。
→ C 薬局から『調剤レセプト』が発行されます。
- ③ JMDC 太郎さんは A 診療所から B 病院を紹介され1月に 2 回外来を受診しています。
→ B 病院から『医科入院外レセプト』が発行されます。
(2 回受診してもレセプトは1枚にまとめられます)
- ④ JMDC 太郎さんは B 病院の外来を受診後、入院しています。
→ B 病院から『医科入院レセプト』が発行されます。



JMDC 太郎さんのレセプトは、1ヶ月間に各医療機関からレセプトの種類別に、計4枚発行されています。

1-4 レセプトから読み取れるデータ項目

●1-4-1 医科レセプトから読み取れる主なデータ項目



データ項目一覧

- ・ 年月 診療年月
- ・ 患者属性 患者 ID、性別、年齢
- ・ 施設情報 医療機関名(施設 ID)、診療科、所在地、病床数、経営体
- ・ 傷病情報 標準病名、ICD10 分類、疑い病名、診療開始日、診療実日数
- ・ 薬剤情報 医薬品名、ブランド名、成分名、一般名、ATC 分類、投与量、投与日数、処方回数、後発品、剤型、診療区分
- ・ 診療行為 検査項目・回数、処置・手術内容
- ・ 材料情報 医療材料名・数量

①疑い病名、②診療開始日、③診療実日数について

①「疑い病名」とは

検査等で受診した際に傷病に(疑い)と記載された病名を示します。

<レセプト記載例>

| | | | | | |
|----------------------|---|----------------------------|---|----|-------|
| (医科入院外) 平成 20 年 5 月分 | | | | | |
| 氏名 | JMDC 太郎 1男 2女 1明 2大 3昭 4平 11.11.20 生 | 〇〇〇病院 東京都千代田区〇〇〇 (300床) | | | |
| 傷病名 | (1)糖尿病 (2)高脂血症・緑内障 (3)狭心症(疑い) | 診療開始日 | (1)15年4月2日 (2)15年4月2日 (3)16年5月14日 | 転帰 | 診療実日数 |

[参考]がん疾患などは、疑いで受診している患者が多い為、疑いを除いた確定患者を対象に分析するケースが多いです。

②診療開始日とは

当該医療機関において対象傷病ごとに診療を開始した年月日を示します。

<レセプト記載例>

| | | | | | |
|----------------------|---|----------------------------|---|----|-------------|
| (医科入院外) 平成 20 年 5 月分 | | | | | |
| 氏名 | JMDC 太郎 1男 2女 1明 2大 3昭 4平 11.11.20 生 | 〇〇〇病院 東京都千代田区〇〇〇 (300床) | | | |
| 傷病名 | (1)糖尿病 (2)高脂血症・緑内障 (3)狭心症(疑い) | 診療開始日 | (1)15年4月2日 (2)15年4月2日 (3)16年5月14日 | 転帰 | 診療実日数 3日 |

JMDC 太郎さんは、〇〇〇病院で、平成 15 年 4 月 2 日に糖尿病、高脂血症・緑内障の診療を開始、平成 16 年 5 月 14 日に狭心症の診療を開始しています。

[参考]診療開始日から、患者ごとにその後の治療経過がわかります。

③診療実日数とは

当該医療機関における入院日数、外来受診回数を示します。

<レセプト記載例>

| | | | | | |
|----------------------|-------------------------------------|-------|---|--------------|----------------------------|
| (医科入院外) 平成 20 年 5 月分 | | | | | |
| 氏名 | JMDC 太郎 1男 2女 | 1明 2大 | 3昭 | 4平 1111.20 生 | 〇〇〇病院 東京都千代田区〇〇〇 (300床) |
| 傷病名 | (1)糖尿病 (2)高脂血症・緑内障 (3)狭心症(疑い) | 診療開始日 | (1)15年4月2日 (2)15年4月2日 (3)16年5月14日 | 転帰 | 診療実日数 3日 |

JMDC 太郎さんは、糖尿病、高脂血症、緑内障、狭心症で平成 20 年 5 月に〇〇〇病院の外来(医科入院外)を 3 回(3 日)受診しています。

➤ ④投与量、⑤投与日数、処方回数について

④投与量とは

レセプトに記載される処方量をさし、内用薬は1日の投与量、注射・外用薬は1回の投与量を示します。

<レセプト記載例>

| | | | | | | | |
|-----|-------------|-------|-------------|------------|-------|-------|------|
| 傷病名 | (1)糖尿病 | 診療開始日 | (1)15年4月2日 | 転帰 | | 診療実日数 | 3日 |
| | (2)高脂血症・緑内障 | | (2)15年4月2日 | | | | |
| | (3)狭心症(疑い) | | (3)16年5月14日 | | | | |
| | | | 21 | ノルバスク錠 5mg | 1錠 | 8.05 | × 30 |
| | | | 23 | キサラタン点眼液 | 2.5ml | 242.9 | × 1 |
| 請求点 | | | | | | | |

内用薬：ノルバスク錠 5mg を 1日 1錠処方
 外用薬：キサラタン点眼液を 1回 2.5ml(1本)処方

⑤投与日数、処方回数とは

レセプトに記載される処方量をさし、内用薬は投与日数、注射・外用薬は処方回数を示します。

<レセプト記載例>

| | | | | | | | |
|-----|-------------|-------|-------------|------------|-------|-------|------|
| 傷病名 | (1)糖尿病 | 診療開始日 | (1)15年4月2日 | 転帰 | | 診療実日数 | 3日 |
| | (2)高脂血症・緑内障 | | (2)15年4月2日 | | | | |
| | (3)狭心症(疑い) | | (3)16年5月14日 | | | | |
| | | | 21 | ノルバスク錠 5mg | 1錠 | 8.05 | × 30 |
| | | | 23 | キサラタン点眼液 | 2.5ml | 242.9 | × 1 |
| 請求点 | | | | | | | |

内用薬：ノルバスク錠 5mg を 30日分処方
 外用薬：キサラタン点眼液を 1回処方

➤ ⑥診療区分について

⑥診療区分とは

投薬や検査、手術など診療ごとの区分を示します。

<レセプト記載例>

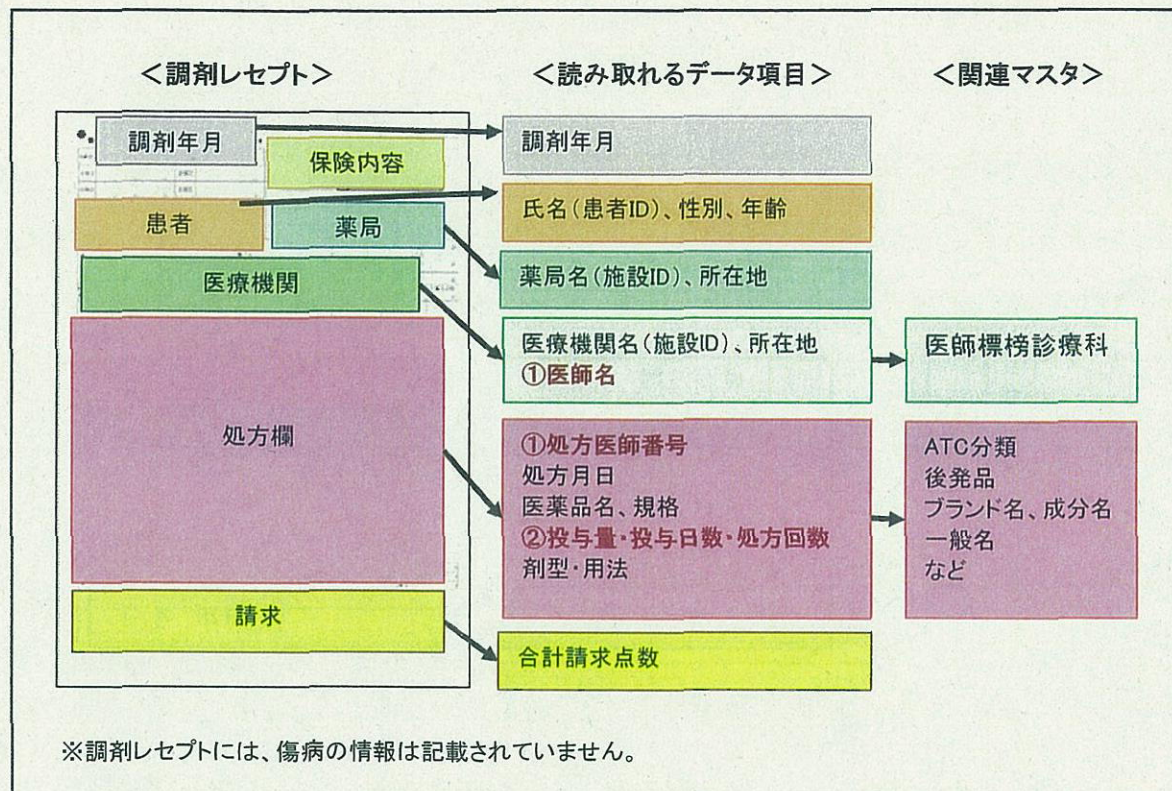
| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|-------------|----|-------|----|----|---|---------|----|---|---------|
| 傷病名 | (1)出血性胃潰瘍 | 診療開始日 | (1)19年6月28日 | 転帰 | 診療実日数 | 3日 | | | | | | |
| | (2)脱水症、急性腸炎 | | (2)19年6月28日 | | | | | | | | | |
| | (3)ヘリコバクター・ピロリ感染症 | | (3)19年6月30日 | | | | | | | | | |
| | | <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">③③</td> <td>点滴注射 ラクテック注 500ml、ビタメジン静注用 1 瓶、 ガスター注射液 20mg2A.....</td> <td style="text-align: right;">283 × 3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">⑤①</td> <td>内視鏡的消化管止血術 ガスコンドロップ 2%10ml、キシロカインビスカス 2%5ml、 生食 20ml1A、トロンビン 10000 単位 1 袋</td> <td style="text-align: right;">179 × 1</td> </tr> </table> | | | | | ③③ | 点滴注射 ラクテック注 500ml、ビタメジン静注用 1 瓶、 ガスター注射液 20mg2A..... | 283 × 3 | ⑤① | 内視鏡的消化管止血術 ガスコンドロップ 2%10ml、キシロカインビスカス 2%5ml、 生食 20ml1A、トロンビン 10000 単位 1 袋 | 179 × 1 |
| ③③ | 点滴注射 ラクテック注 500ml、ビタメジン静注用 1 瓶、 ガスター注射液 20mg2A..... | 283 × 3 | | | | | | | | | | |
| ⑤① | 内視鏡的消化管止血術 ガスコンドロップ 2%10ml、キシロカインビスカス 2%5ml、 生食 20ml1A、トロンビン 10000 単位 1 袋 | 179 × 1 | | | | | | | | | | |
| 請求点 | | | | | | | | | | | | |

[参考]診療区分ごとに薬剤をみることで、検査および麻酔・手術での投与の場面がわかります。

診療区分一覧

- ① 初診
- ② 再診
- ⑬ 医学管理 (外来栄養食事指導やニコチン依存症管理、生活習慣病指導管理、手術管理などを行った場合に記載される)
- ⑭ 在宅 (在宅訪問看護・指導や在宅酸素療法指導管理、自己注射指導管理などを行った場合に記載される)
- ⑳ 投薬 → ㉑ 内服、㉒ 屯服、㉓ 外用、㉔ 調剤、㉕ 処方、㉖ 麻毒、㉗ 調基
- ㉓ 注射 → ㉑ 皮下筋肉内、㉒ 静脈内、㉓ その他
- ④① 処置
- ⑤① 手術
- ⑤④ 麻酔
- ⑥① 検査
- ⑦① 画像診断
- ⑧① その他 (精神科訪問看護・指導や放射線治療管理などを行った場合に記載される)
- ⑨① 入院基本料・加算 (一般病棟入院料や入院時医学管理などを行った場合に記載される)
- ⑨② 特定入院料・その他 (特定集中治療室管理や小児入院医療管理を行った場合に記載される)
- ⑨⑦ 食事・生活

●1-4-2 調剤レセプトから読み取れる主なデータ項目



データ項目一覧

- ・ 年月 調剤年月
- ・ 患者属性 患者 ID、性別、年齢
- ・ 医師属性 医師名(医師 ID)、医師標榜診療科
- ・ 施設情報 薬局名、医療機関名(施設 ID)、所在地
- ・ 薬剤情報 医薬品名、ブランド名、成分名、一般名、ATC 分類、投与量、投与日数、処方回数、後発品、剤型・用法

①医師名・医師番号について

調剤レセプトには処方箋を発行した医師の氏名が記載され、医薬品ごとにどの医師が処方したか判ります。

<レセプト記載例>

| 調剤報酬明細書 平成 18 年 6 月分 | | | | | | | | | |
|----------------------|----------------------------|---|-------------------------------------|--|--------|--|-----|-----|-----------|
| 氏名 | | JMDC 太郎 1男 2女 1明 2大 3昭 4平 11.11.20 生 | | | | 保険薬局の住所 及び名称 | | | |
| 保険医療機関 | 〇〇〇病院 東京都千代田区〇〇〇 (300床) | | | | 保険医氏名 | 1. 東京 花子 6. 2. 7. 3. 8. 4. 9. 5. 10. | | | |
| 医師番号 | 処方月日 | 調剤月日 | 処方 | | 調剤数量 | 調剤報酬点数 | | | 公費分 点数 |
| | | | 医薬品名・規格・用量・剤型・用法 | | | 調剤料 | 薬剤料 | 加算料 | |
| 1 | 6.1 | 6.1 | 「内用」ロキソニン錠 3T アトミンS 3T 分3 毎食後 | | 4 7 | | | | |

〇〇〇病院で花子医師は、JMDC 太郎さんにロキソニン錠とアトミン S を処方しています。

➤ ②投与量・投与日数・処方回数について

投与量とは

レセプトに記載される処方量をさし、内用薬は1日の投与量、注射・外用薬は1回の投与量を示します。

投与日数・処方回数とは

レセプトに記載される処方量をさし、内用薬は投与日数、注射・外用薬は処方回数を示します。

<レセプト記載例>

| 医師 番号 | 処方 月日 | 調剤 月日 | 処方 | | 調剤 数量 | 調剤報酬点数 | | | 公費分 点数 |
|----------|----------|----------|-------------------------------|----------|-----------|--------|-----|-----|-----------|
| | | | 医薬品名・規格・用量・剤型・用法 | | | 調剤料 | 薬剤料 | 加算料 | |
| 1 | 6.1 | 6.1 | 「内用」ロキソニン錠 アトミンS 分3 毎食後 | 3T 3T | 4 7 | | | | |
| 1 | 6.22 | 6.22 | 「外用」 MS温シップ 腰部貼付 | 400g | 1 | | | | |
| | | | | 投与量 | 投与日数・処方回数 | | | | |
| 保 険 | 請求点 | | | | | | | | |

内用薬 — ロキソニン錠 1日投与量 3T , 投与日数 4日分
 アトミンS 1日投与量 3T , 投与日数 7日分
 外用薬 — MS温シップ 1回の処方量 400g , 処方回数 1回